

【様式2：診断書】面談者記入用

企業名	
-----	--

1. 知的財産活動の経営戦略上の目的・位置づけ

① 知的財産活動の目的 は明確かつ具体的か	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産活動の目的が明確に意識されているか（競合者間における競争力の強化、取引者間における交渉力の強化、受注の決め手となる要素を創り出す、新事業を創出する、無形資産（知的資産）を見える化、財産化する、創意工夫を促進し社内を活性化する etc.） ● 知的財産活動の目的は具体的か（対象分野・製品、想定される競合相手、出願目標件数などの数値 etc.） ● 経営計画に知的財産の位置づけが明示されているか ● 年間業務計画に知的財産に関する計画や目標が記載されているか
② 知的財産活動の目的 は経営課題に沿って いるか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営課題をどう捉えているか ● 知的財産活動の目的は経営課題の解決に対応したものか ● 経営課題を解決する知的財産活動となっているか（知的財産活動のための知的財産活動になっていないいか） ● 知的財産活動と事業モデルはどのような関係にあるか
③ 知的財産活動の目的 が社内外の関係者に 浸透しているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産活動の目的が社内の関係者にも理解されているか ● 知的財産活動の目的が社外の協力者（弁護士・弁理士等）にも伝わっているか
面談者コメント	<p>評価</p>

2. 知的財産活動を実践する仕組み

① 組織体制・役割分担が整備されているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 担当部署などの組織体制 ● 知的財産専門の部署を設けているか ● 担当者は専任か兼務か ● そのような業務分担となっている理由は何か
② 業務の流れ等のルールが定められているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特許出願や営業秘密管理の業務の流れが決められているか ● 規程等に明文化されているか ● 各々の業務の担当者は決められているか ● 業務の流れに工夫されている点はあるか
③ 規程・書式類が整備されているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産活動の基本方針を文書化したものがあるか ● 職務発明規程が定められているか ● 営業秘密管理規程が定められているか ● 報奨制度が設けられているか ● 発明提案書やライセンス契約等のひな形が用意されているか
④ ①②③は、知的財産活動の目的や企業のリソースに合致しているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産活動の目的と仕組みに不整合（社内の活性化が目的でありながら多くの社員が参加する仕組みになっていない、新規事業の立上げが目的でありながら新規事業部門の関与が薄い仕組みになっている etc.）は生じていないか ● 発生し得る業務量に対して仕組みが過大になっていないか
⑤ ①②③が実際に運用されているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 役割分担が実際に機能しているか ● 規程やワークフローに沿って実際に業務が進められた実績があるか
面談者コメント	<p>評価</p>

3. 法制度・実務および知的財産戦略・知的財産経営に関する知識

① 知的財産に関する法制度や実務を理解しているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産法や実務(明細書作成・出願手続等)を理解しているのは誰か(経営者か、担当者か、社外の協力者か) ● 知的財産法や実務の知識は知的財産活動を進めるのに支障がないレベルか ● 社内の関係者に研修等の教育を行っているか ● 社外に相談相手が確保されているか
② 知的財産戦略・知的財産経営に関する理解は十分か	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営者の知的財産活動に対する期待が過大になっていないか(特許さえあれば事業が独占できる、特許をとれば直ちにライセンス料が稼げる etc.) ● 経営者が知的財産活動を過小評価していないか(訴訟ができなければ知的財産権など意味がない、サービス業に知的財産は関係ない etc.) ● 経営者が知的財産活動の効果を画一的に捉えていないか(排他権として使うもの etc.)
面談者コメント	<div style="text-align: right;">評価</div>

4. 知的財産活動の成果

① 知的財産活動の具体的な成果が現れているか	<p>[ポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産活動の具体的な成果が現れているか ● 成果が現れているのは主力事業かその他の事業か ● 成果の程度は顕著か、ある程度か ● 知的財産活動の成果を測る指標を持っているか ● 成果は知的財産活動の目的や位置づけに適ったものか
面談者コメント	<div style="text-align: right;">評価</div>

謝　　辞

7年間の活動を終了するにあたり、この活動を献身的に支えてきた行政のご担当の方々、民間委員の先生方、事務局の方々、また、全国において忙しい合間を縫って知的財産戦略コンサルティングの実地に参加し、新たな実務水準を築いていった多くの支援者の方々、事例調査でヒアリングにご対応頂いた経営者の方々に深く感謝致します。

我々の活動は終着点に達したのではなく、日本の競争力を向上させ、次世代のために豊かで誇れる国を作るという目標を実践していくフェーズに入ったのだということを、ここに改めて確認したい所存であります。

最後に、本プランニングブックを、我々の活動のよきパートナーであった事務局・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社故鶴田哲也主任研究員に捧げたい。

本事業・全体会員会委員長 鮫島正洋

「平成22年度地域中小企業知財経営基盤定着支援事業」
全体委員会委員

役 職	氏 名	所 属
委員長	鮫島 正洋	内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士
委 員	相原 正	相原特許事務所 弁理士
委 員	桑原 良弘	ディスプロ株式会社 代表
委 員	佐原 雅史	株式会社ブライナ代表取締役 弁理士
委 員	杉光 一成	知的財産教育協会 専務理事
委 員	塚越 雅信	インクタンク・ジャパン株式会社代表取締役社長
委 員	中山 喬志	日本知的財産協会 専務理事
委 員	土生 哲也	土生特許事務所 弁理士
委 員	松本 初男	インテリジェント・コスマス研究機構 産学官連携インキュベーション事業部 プロジェクトマネージャー 知的財産アドバイザー
委 員	溝口 督生	溝口国際特許事務所 弁理士

(委員は50音順、敬称略)

「平成22年度地域中小企業知財経営基盤定着支援事業」
マニュアル作成ワーキンググループ

役 職	氏 名	所 属
座 長	土生 哲也	全体委員会委員 (編集及び第Ⅱ章・第Ⅲ章-2・第Ⅳ章執筆)
委 員	佐原 雅史	全体委員会委員 (第V章執筆)
委 員	塚越 雅信	全体委員会委員 (第Ⅲ章-1執筆)
委 員	籾田 安之	株式会社API代表取締役 中小企業診断士・一級建築士 (第Ⅲ章-2執筆)
オブザーバー	鮫島 正洋	全体委員会委員長 (第I章執筆)

(委員は50音順、敬称略)

オブザーバー

特許庁総務部普及支援課

田口 恵一 課長
森田 光一 知的財産情報分析官
小野 昌彦 知的財産情報分析官
藤野 尚久 課長補佐(地域調整班長)
木村 真己 課長補佐(中小企業等支援企画班長)
宮本 一也 係長(中小企業等支援企画班)
宮平 直木 係長(中小企業等支援企画班)
鈴木 貴久 (中小企業等支援企画班)

特許庁総務部企画調査課

篠原 勝美 課長補佐

経済産業省経済産業政策局知的財産政策室

石原 徹弥 課長補佐

事務局

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

鶴田 哲也 知的財産コンサルティング室 主任研究員
渡部 博光 知的財産コンサルティング室 室長
松山 豊 知的財産コンサルティング室 主任研究員
後藤 誠 経営コンサルティング部(名古屋) コンサルタント
森口 洋充 知的財産コンサルティング室 主任研究員
肥塚 直人 知的財産コンサルティング室 副主任研究員
萩原 達雄 知的財産コンサルティング室 主任研究員
花田 文子 知的財産コンサルティング室 研究員
宇佐見 尚武 知的財産コンサルティング室 コンサルタント
北 洋祐 研究開発第2部(名古屋) 研究員
久保田美穂子 研究開発第2部(名古屋) 研究員

連絡先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
(電話)03-6711-1200

特許庁 総務部 普及支援課 中小企業等支援企画班
(電話)03-3581-1101(内2145)

平成23年3月発行

本冊子は、特許庁が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託した「平成22年度地域中小企業知財経営基盤定着支援事業」の一環として作成したものです。作成にあたっては、同社に委員会・ワーキンググループを設置して検討を行いました。